

◎市民ニーズにこたえる
新年度予算編成は

問 平成23年度に事業推
進を図っていききたい重点事
業は何か。

答 農を活かしたまちづくり
など、健康で質の高い市民生
活への取り組みをはじめ、総合
的な治水対策などの都市基盤
整備、積極的な企業誘致、多様
な保育サービスの充実などに
取り組んでいきたい。

◎太陽光発電システムの
導入状況はどうか

問 地球温暖化防止などの
観点から、家庭用太陽光発
電システムの導入状況はど
うか。

答 本年度は奨励金額を2倍
にしたこともあり、11月末現在
で99件の申請があった。昨年度
と比べて大幅に増加している。

◎「公民館のあり方」の
検討結果は

問 公民館のあり方の検討
結果と、その取り組み状況は。

答 県内各市の状況、本市の
公民館の利用状況、各公民館
の運営委員会による事業実態
や予算などの把握に努めてき
た。この結果を踏まえ、本年度
中に原案を示し、来年度には
検討委員会を立ち上げ、詳細
などについて検討していく。



公民館で行われた少年学級のしめ縄作り

◎ゲリラ豪雨への盤石な
対策を

問 避難場所と避難経路の
安全性について、地域の調査
地元への聴取が必要では。

答 住民の意見を聴取し、地
域の実情の把握・検討をした
上で、安全場所を指定する。ま
た、住民を対象に図上訓練を
実施しており、この訓練結果
をもとに、必要に応じてマンユ
アル内容を見直すなど、より
安全な避難場所や避難経路の
確認作業を行っていく。

問 ゲリラ豪雨を想定し
た「ハザードマップ」を作
成し、周知すべきと思うが。

答 各地区における避難場所
や避難経路等の情報を掲載し
た、地域住民手作りのハザー
ドマップを新たに作成し、各戸
配布や公会堂・公民館への掲
示により周知を図り、水害時
の避難行動に役立てていく。

◎空き家・廃屋の抑止
対策が必要

問 地域の協力を求め、全
市的な空き家調査を実施し、
その調査結果に対応でき
る制度が必要では。

答 地域と連携する中で、建
物の所有者に対し、建築基準
法などに基づく適正な管理の
指導・要求をしていく。また、
法制上の整備についても、各
方面へ働きかけていく。



配布されている洪水ハザードマップ